

今月の  
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College  
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

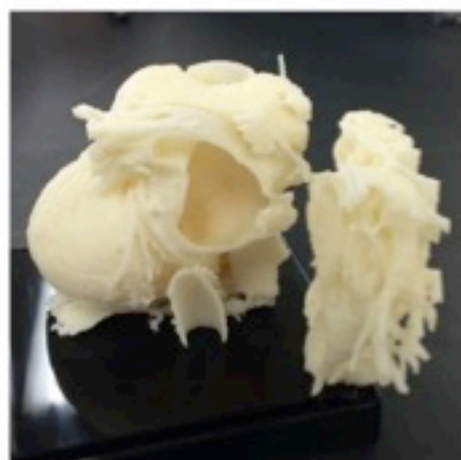
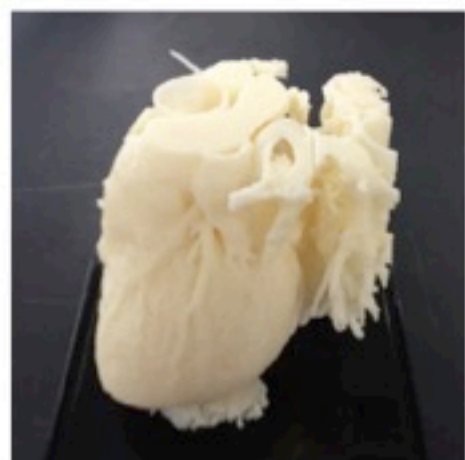
24時間対応させていただきます



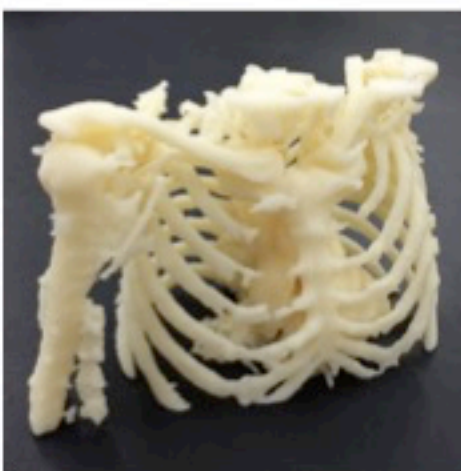
## 近況報告



3Dプリンターで患者さんの心血管モデルを作成し、病態の理解向上にむけた取り組みを行っております。



当科では、一部の方に限られますが、3Dプリンターを用いて患者さん自身の心血管モデルを作製し、インフォームド・コンセントに使用する試みを行っています。これにより患者さんがご自身の病気や、検査・治療に対して理解を深めることが出来ないか、と考えています。



3Dモデルの具体的な作製方法は以下の通りです。CT検査の2Dデータを3Dのボリュームデータに変換し、心血管の特定組織を抽出します。得られた3Dデータを設計図として、熱で融解した樹脂を少しずつ積み重ねて立体モデルを作製していきます(熱溶解積層法といいます)。左図の写真に示す心血管の3Dモデル作製には約3日かかります。

本モデルにおいて血管内部や心腔内を空洞として処理できるため、複雑な心血管の解剖を理解することが出来ます。実際に患者さんに行ったアンケート結果においても、良好な回答が得られています。先生方からのご要望にお応えし作製することも可能ですので、ご希望があればご連絡ください。

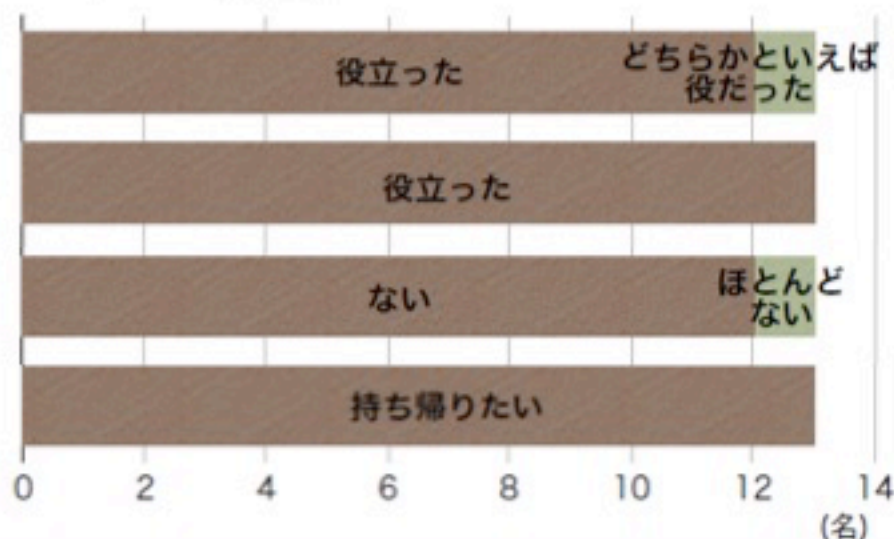
## ～ アンケート結果 ～

3次元モデルを使った説明は病気の理解に役立ちましたか？

3次元モデルを使った説明は検査や治療の理解に役立ちましたか？

ご自身の3次元モデルを作ることに抵抗はありますか？

3次元モデルを持ち帰りたいですか？



## 後記

the editor's notes

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。循環器内科ホットライン24時間対応を開始して約半年が経過しました。1月末日までに45名の患者様をホットラインを通じてご紹介いただき、40名の方が緊急入院されました。このたび、循環器ホットラインの運用に対する先生方のご意見を伺いたく、アンケート用紙を同封させていただきました。先生方の忌憚ない御意見を願ひいたします。

